

## 令和5年度第2回

### 富士見市公民館運営審議会(鶴瀬地区)

#### 議事録

<b>日 時</b>	令和5年11月15日(水)	開会	午前10時00分			
		閉会	午前11時30分			
<b>場 所</b>	鶴瀬公民館 第2集会室					
<b>出席者</b>	委 員	小林委員	小谷委員	石谷委員	清水委員	
		○	○	○	○	
	事務局	鶴瀬公民館				
<b>公開・非公開</b>	公開(傍聴者なし)					
<b>議 題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開 会</li> <li>・あいさつ</li>   <li>・報告事項 *主な事業報告及び今後の予定</li>   <li>・協議事項 *協議テーマ『公民館のデジタル化』について (これまでの議論を受けて)</li>   <li>・その他</li> <li>・閉 会</li> </ul>					
<b>議 事 内 容</b>						

・開会

・あいさつ（鶴瀬地区代表員、鶴瀬公民館長）

・報告事項

＊主な事業報告及び今後の予定

⇒資料に基づき事務局から説明。

（質疑等特になし）

・協議事項

＊協議テーマ『公民館のデジタル化』について

（これまでの議論を受けて）

代表委員：協議テーマ『公民館のデジタル化』について、鶴瀬公民館では、スマホ教室・相談の実施と音楽関連等の事業の配信の取組について、検討をしているが、状況等について、はじめにスマホ教室・相談の実施について事務局から説明願いたい。

事務局：前回の会議では淑徳大学との連携による意見が出され、大学に相談したが、具体的な内容、日程、必要人数等を明らかにした上で、改めて話をいただきたい旨の連絡を受けた。ここで具体的な内容について議論ができればと考える。具体的には資料にある埼玉県立大学やどり木PCスマホサロンの事例を参考に相談会として開催し、学生と地域高齢者などの世代間交流にもつなげられたらと考える。

委員：1回限りでの取組ではなく、継続性のある取組が必要ではと考える。

委員：現在はソフトバンクが受託事業として開催を行っているとのことだが、今後の継続性を見据えた場合、予算の確保や、参加費の考え方などを整理する必要があるのでは。

委員：教室・相談に興味がない、必要性を感じないという市民も少なからずいるのでは。テーマを設定するなど、イメージを持たせること、必要性を感じてもらうことが大切では。

委員：公民館の取組としては、事務局から説明のあった内容で取組んでみて良いのでは。

代表委員：淑徳大学に事務局から説明があった内容で相談いただき、可能性を探ることとする。

代表委員：続いて、音楽等の事業の配信について、事務局から説明願いたい。

事務局：職員の力だけでは難しい面もあるので、市民との協力、連携が不可欠と考える。そこで、2月24日開催予定の地域自治シンポジウムにおいて、市民の協力を得ながら、取組の様子を配信することで調整を図っているところである。その中のオープニングで市民の演奏を行う予定でもある。これを試行機会として、課題等を整理してつなげていきたい。

委員：施行を踏まえ、ストーリー性や狙い、課題などを整理し今後も検討を進めていければと考える。

代表委員：試行機会を踏まえ、今後の対応についてさらに検討を重ねていきたい。

事務局：この他にも委員からこれまでに英会話講座等の実施などの意見もいただいているところである。これからも意見を出し合いながら取組につなげていきたいと考える。

- ・その他

⇒事務局から、次回全体会議が、都合により当初予定の12月14日（木）から12月7日（木）午後7時～に変更になった旨報告。

- ・閉会